

#08_愛を知って

「その…いつ頃から起きてたかとかは…知らないけど…」

「ここ、出ていこうって思ってさ」

「理由とかは、その…面と向かって言うつもりはないけど…さ」

「わかるでしょ？」

「私みたいなのと、あんたが…一緒にいるのって、正直良くないと思うし…」

「だから…出ていくの。別に1人でも…生きていけるし」

「…それに、いつ出ていこうが、あんたには関係ないで…」

「んっ…！」

「ん…なんで…」

「なんで、止めてくるの？」

「…なんで…っ、いつも、そんな優しいの…？」

「んっ…ぐっすっ…そんなことされたら…思っちゃうじゃん」

「うう…ずっと一緒にいたいって…思っちゃうじゃん…」

「あんたから…離れられなくなっちゃうじゃんかあ…」

「んっ…いいの？ 一緒にいても？」

「私…あんたに結構迷惑かけると思うよ？」

「あんたを頼って…たくさん甘えちゃうかもよ…？」

「それでも…いいの？」

「バカ…なんでそんなすぐに…答えてくるのよ…」

「…幸せで、死んじゃうよ」

「んっ…ちゅっ…」

「ん…したくなったの…キス」

「あんたに、教えてもらったから…」

「愛を伝えるなら…これが一番だって…ふふっ♡」

「んっ…！ ちゅうっ！ えへへ♡」

「もっと、もっと…しょ…」

「ちゅっ…ちゅう…んちゅう、ちゅぶ、ちゅぶあ♡」

「はあ、はあ…♡ んっ～」

「んちゅう、ちゅぶっ…んっ、れろ…れろ、れろれる…れろちゅう♡」

「れるぶちゅっ…んは、れるれる、れろれりゅう、んうう、れるれる…れろむちゅう♡」

「はあ、はあ…キス…好き♡」

「んちゅう、れるれる、れろむちゅっ…んちゅう、れるれる…はあ、ふう♡」

「れるれる、好き…♡ れるれる…好き♡ んちゅう、れろれりゅう…しゅきい♡」

「もっと…んゆ、れるちゅう…れるれる…れろちゅうう♡ はあ、ふう～♡」

「はあ、はあ…ふう…ん…」

「ねえ…ん、その…もう…欲しいかも」

「挿れて…ほしい…あんたに、たくさん愛してもらいたい…♡」

「んっ…エッチも、したいけど…♡ 繋がってたいって気持ちの方が…大きくて…」

「だから、したいの♡」

「全身で、私を感じて…愛して？ 私も…全身で…伝えるから…」

「好きって気持ちを…あんたに…だから…」

「んっ…ちゅう♡」

「ちゅっ、ちゅう…ちゅぶ♡」

「ふう…ふふ、だから…しょ♡」

「ふう、ふう…」

「ちゅっ…ちゅう♡」

「んっ…ちゅう♡ れるれる…れろちゅう♡ はあ、はあ…♡ れる、れろちゅう♡」

「れる、れる…んちゅう♡ はあ、はあ…♡ んっ♡ れる、ちゅう♡」

「はあ、はあ…ん…ちょっと、待って」

「その、今日は…上も…脱ぐから…さ」

「傷とかあって…少し見苦しいかも…だけど…」

「でも、あんたには見て…おいてほしくて…」

「それも込みで…その…愛してくれたら、嬉しいんだけど」

「ふうふう…嫌なら、言ってね？ 服、着るから…さ」

「んっ…ふう、ふう…」

「こんな…感じなんだけど…」

「ごめん…ね？ やっぱ、傷ばっかで見苦しい…よね」

「んっ…！」

「もう…どこまで優しいのよ…」

「本当…もっと、好きになっちゃうじゃん…」

「んっ…はあ、これ…あんたの体、直接感じられて…気持ちいい…」

「少しだけゴツゴツしてるけど…優しさも感じるっていうか…」

「好き…」

「全部…好き…」

「えへへ…」

「ん…ここもゴツゴツさせてるじゃん？」

「はあ、はあ…今すぐにでも挿れたい、って感じ？」

「んっ…じゃあ、来て♡」

「はあ、はあ…ふう…」

「んっ…この前みたいに、抱っこしてる感じの挿れ方…してもらってもいい？」

「あれ、好きだから…」

「それに今日はお互い…裸だし？ 前よりも、絶対気持ちいいと思うしさ…」

「ん、だから…お願い…」

「ふう、ふう…」

「はあ、はあ…んっ♡ もう、すぐ入りそうじゃん？ んっ♡」

「ん…ちゅう♡」

「はあ、ふう…今日も、たくさん愛して♡」

「んうっ！ んっ、ああああ♡」

「はあ、はあ、んっ♡ んんんっ♡」

「はあ、はあ…ごめん…すぐ…イツちやった…♡」

「さっき、んっ…1人でしてたし…あんたに…んっ♡ 挿れられて…幸せでえ♡」

「はあ、ふう…んちゅっ…♡ すごく、感じてる♡」

「ああっ！ あんう！ んんっ！ あっ！ あんっ！ ああはっ！ はあう！ んっ！」

「はあっ！ ああっ！ あっ！ ああっ！ んう！ 中…ずんずんって…！」

「あんたの…があっ！ 突いて…んんっ！ あっ！ ああっ！」

「気持ちいい♡ 気持ちいい…よお♡ んああっ！ あう！ ひやう！ はあっ！ はあっ！」

「んんっ！ んっ！ これ…ダメっ…ああっ！ あっ！ あっ！」

「すぐ…につ…ああっ！ あっ！ あああっ！ イク…！ イツちやうっ…！ んんんう～っ！」

「んんっ！ んっ！ あっ！ ああああああああっ！」

「はあ、はあ…んんっ！ ダメ…んん、動くの…止めないでっ…！」

「そのまま…はあ、はあっ…あああっ！ 動いて…えっ♡」

「あんたの…ずっと…んんっ！ 感じて、たい…のお♡ んっ！ ああっ！ ああっ！」

「はあ、はあ…ああっ！ んっ！ また…イクう♡」

「んんっ！ んんんっ！ はあ、んんっ！」

「はあ、はあ、はあ…ふう、んっ！ あっ…んんんっ♡」

「んちゅっ、ちゅう…れろれろ、れるちゅう♡ はふう♡ んちゅっ、ちゅぶ、れるれりゅ…♡」

「はあ♡ はあ♡ んんっ♡ たくさん、イカされちゃった…はあ♡」

「んゅっ！ はあ、んっ…♡ どうしたの、そんな強く抱きしめてきて…んんっ♡」

「はあ、あっ…！ そんな男らしいところ見せられたら…んんっ！」

「もっと、好きになるじゃんかあ♡」

「んんっ！ ああっ！ ああう！ んっ！ ふーっ！ ふーっ！ んんっ！」

「あああ…！ イク…また…んんっ♡ イツちやう…んんんんっ！」

「あああっ！ イツクううっ！ んんんあああっ！」

「はあ、はあ…んっ♡ はあ…♡」

「好き…だよ♡ 好き♡ 愛してるっ…♡」

「優しいあんたもっ…！ んう！ ふう、ふう…男らしいあんたも…っ♡」

「全部…んんっ！ 全部、好き♡ はあ、うっ…！ んんんっ！」

「はあ、はあ、えへへ…♡ 言ったら…もっと…気持ちよく、んっ、なっちやった…っ！」

「んんうっ！ んっ！ ああっ！ あっ！ あっ！ んんんんんうっ…！ くううっ♡」

「はあ、はあ…んんっ！ もう、何度イツちやったか…わかんなくなってきた♡ はあ、ふう…♡」

「お返し…！ しないと…ねえ♡」

「んちゅっ、ちゅう…！ ちゅぶ…ちゅうう♡」

「んあ…はあ、ふう…んちゅうう…れるれる、れろちゅう♡ んふう、んっ！ んんっ！」

「れるれる、れるれるれるれる、れるう～…ぶはあ♡」

「んっ♡ よーく、聞いて♡ はあ、ふう…大好き…♡ だーい好きっ♡」

「んちゅう、れるれる…れろ、ちゅう♡ 好き…♡ れちゅ、好き♡」

「好き、好き…好き好き好き♡ んんっ♡」

「はあ、はあ…んっ、んっ…はあ、はあ…あうっ、ふう…」
「んう…んんんっ♡ あはあ…はっ、はっ…ふうう♡」
「えへへ…♡ たくさん、んんっ…気持ち、伝えちゃった…♡」

「んんっ♡ あんたも…私の事、好き？ 愛してる？」
「じゃあさ…んんっ♡ 体でさ…たくさん、その気持ちい…はあ、はあ…教えてよ？」

「はあ、ふう…」
「スパートかけて…んんっ！ 中に沢山出してさっ…はあ、ふうっ…！」
「あんたの気持ち…んんっ…教えて♡」
「ん…お願い…ね♡」

「んんっ！ きたっ♡ きたあ♡ ああっ！ んああっ！ あんっ！ ああんっ！」
「はあ、ふう、んんっ！ 激しいの…好き…♡ あんたにサれるの…んんっ！ ああっ！ 好き♡」

「はあ、はあ…んんっ、ちゅっ♡ ちゅうう♡ あふうっ！ んちゅう、れるれる♡」
「んんう、はあ、んんっ…イク…♡ んんっ、れるれる…んんんあっ♡ れるれるれる…」
「れるるちゅう♡ んんっ、んう、はあっ！ はあっ！ れるれるれる…♡ れろちゅう♡」

「そろそろ…出る？ 出そう？ んんっ♡ はあ、れるれる…れろちゅう♡」
「いいよ…出して…♡ 中に全部う…♡ びゅーびゅーって…ふう、ふう…してえ♡」

「んう、ちゅっ♡ お願い♡」

「はあ、はあっ…あああっ！ あんっ！ んんっ！ あああっ！」
「はあ、はあ…ああ、来る…今日一…でえ…大きい…んんっ！ 来ちゃうっ♡」
「はっ、はっ、はあっ…んんっ…んんっ！ あんたのも…んんっ！ 大きく…なってえ…はあ！ んんっ！」

「ああ、イク…イクっ…♡ んんっ…んんっ！」
「イクイク…イクイクイク…んんっ！」

「んんっ♡ んちゅ、れるれる…れるちゅむっ…んちゅう、ちゅぶう♡」

「はあ、イク…ちゅっ…んんっ！ んんっ！ イキュイキュ…んう、ふうううう～～～っ！」

「んふう♡ ふう…♡ んんんう♡ んふう♡ ふっ…ふうう♡」

「はあ、はあ…んっ♡ まだ、出てるっ♡ んんう…はあ、はあ…はうう～♡」

「ふう、ふう…んっ…はああ…♡」

「ありがと…♡ んっ…たくさん、出してくれて…♡」

「んっ…ちゅう♡ ちゅう、れるれる…れるちゅっ♡」

「ふう、ふう…ありがと…♡ んっ…愛を、教えてくれて…♡」

「んっ…ちゅううう♡ ぷふう…ふふっ♡」